

第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画 改定 概要版

計画改定の必要性

- 平成30年（2018年）3月の計画策定当初から、地震や台風などの大きな災害による災害廃棄物の発生
- 令和元年度（2019年度）末からの新型コロナウイルス感染症拡大のため、社会・経済活動が大きく変化するとともに、ごみの排出量にも大きな影響を及ぼし、数値目標の再設定の必要性
- 「食品ロスの削減の推進に関する法律」や「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行などによる、さらなる循環型社会の形成に向けた取組みの推進

計画改定に当たっての課題の整理

- (1) ごみ焼却施設で余力を持って処理できる量を上回るごみの搬入
- (2) 少子化・高齢化の急激な進行による地域コミュニティの変容
- (3) 発生抑制・再使用を推進するための、市民・事業者・行政の三者による協働の促進
- (4) 家庭系・事業系ごみの減量の推進（紙ごみ・食品ロス・プラスチックごみ等）
- (5) リサイクルと適正処理に対応した分別収集体制の拡充
- (6) 安定した中間処理施設等の運用

計画の構成

第1部 ごみ処理基本計画

第2部 食品ロス削減推進計画

第3部 生活排水処理基本計画

減量目標と個別目標

減量目標

ごみの焼却処理量を令和9年度（2027年度）には
平成28年度（2016年度）実績より **8%** 削減



個別目標 減量目標を達成するための個別数値目標を設定



基本理念・基本方針・基本施策

基本理念

協働で取り組む循環型社会の構築

基本方針

循環型社会の構築に向けた取組みを進めます

基本施策

- ① 廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進
- ② 廃棄物の適正処理の推進
- ③ 美しいまちづくりの推進
- ④ 災害廃棄物の適正処理

家庭系・事業系ごみの減量の推進 取組み例

新たに取組む内容や、拡充する取組みの一例

家庭系ごみの減量推進

- 事業者との連携のもと、元のプラスチックと同様の品質に戻す水平リサイクルの取組みの検討
- SNS等を活用し、市民に対してごみ分別・排出ルールに関する周知広報活動を充実
- 再使用可能なものを繰り返し使用するリユースの取組みの拡充

事業系ごみの減量推進

- サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行について事業者へ情報提供することにより、循環経済への移行の気運を向上
- ごみ減量につながる事業者への取組みに対し、補助金制度を検討
- 豊中エコショップ制度の拡充など環境問題への意識